

2015年1月9日

2020年を目標に東横線・田園都市線・大井町線の 全64駅にホームドアを設置します

- 列車との接触事故を減らし、国内外のお客さまが安心してご利用いただける鉄道を目指して -

東京急行電鉄株式会社

当社は、あらゆるお客さまが安全・安心して利用できる鉄道を目指し、これまで取り組んできたホームドア設置計画を大幅に加速し、2020年を目標に東横線・田園都市線・大井町線の全駅にホームドアを設置することを決定しました。

これまでも、ホーム安全対策を重要な課題と位置づけ、国の指針を踏まえながら、内方線付点状ブロックや非常停止ボタン、ホーム安全柵の設置など、さまざまな対策を実施してきました。しかし、抜本的な対策であるホームドアは、車両によってドア位置が異なるなどの課題があることから、一部駅での設置に留まっていました。

このたび、ホームドア設置計画を加速させるため、田園都市線の6ドア車45両を4ドア車に置き換え、車両のドア位置の課題を解消します。これにより、従来の設置計画を10年以上短縮するとともに、世田谷線・こどもの国線を除く全ての駅で、ホームドア・ホーム安全柵が設置されます。

ホームドアの設置によって、ホームの安全性が大きく高まり、お年寄りやお子さま連れのご家族、お身体の不自由な方などあらゆるお客さまが安心できる駅になります。また、輸送障害の約8割を占める列車との接触事故を防止し、運行が長時間にわたって止まることのない、より安定した鉄道ネットワークを目指します。

ホームドア設置計画の詳細は、別紙のとおりです。



ホームドアの設置計画

設置予定駅

2014年度 代官山・武蔵小杉・横浜

2015年度 新丸子・菊名・溝の口（大井町線） 他7駅を予定

※ 2015年度以降の設置駅は、あらためてお知らせします。

※ 一部駅では、昇降式ホームドアの設置を検討します。

ホームドア・センサー付固定式ホーム柵の設置状況および設置計画

路線名	駅数	設置済み駅数(※)	新設
東横線	21	3	18
目黒線	13	13	
田園都市線	27	0	27
大井町線	16	1	15
池上線・多摩川線(※)	22	22	
こどもの国線	3		
世田谷線	10		

※ 2014年12月末時点の設置駅です

※ 池上線・多摩川線は、センサー付固定式ホーム柵を設置しています

ホームドアの設置効果

ホームドアの設置効果

① ホームからの転落事故などが大幅に減少します。

※ ホームドア設置済の目黒線は、列車との接触事故が0件（2013年度）

② 電車が長時間止まる可能性が少なくなります。

※東急線で発生した輸送障害のうち、

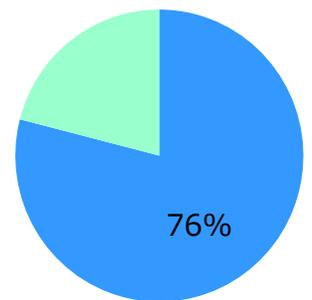
ホームでの列車との接触による原因が約8割を占めています。

ホームドアにより列車との接触事故が減少することで、

電車が長時間止まることが少なくなり、

鉄道の安定運行にも大きな効果が見込まれます。

輸送障害の原因
(2013年度:東急電鉄)



■ ホームでの列車との接触によるもの
■ その他

参考資料

<ホームドア>



(可動式ホームドア)



(昇降式ホームドア)

<センサー付固定式ホーム柵>



<センサー付固定式ホーム柵>

開口部にセンサーを設置した固定式ホーム柵です。